

4 調査報告 (平成30年度活用企業)

4.1 調査報告 (平成30年度活用企業)

【平成30年度生涯現役スキル活用型雇用推進事業】アンケートのまとめ

本事業は平成30年度よりスタートしており、高年齢従業員（55歳以上）の継続雇用と若年者（15歳から30歳）の新規雇用の両立を図りながら、高年齢従業員のもつ技術・経験を若年者に継承する「ペア就労」を取り入れる企業に対して助成するものです。

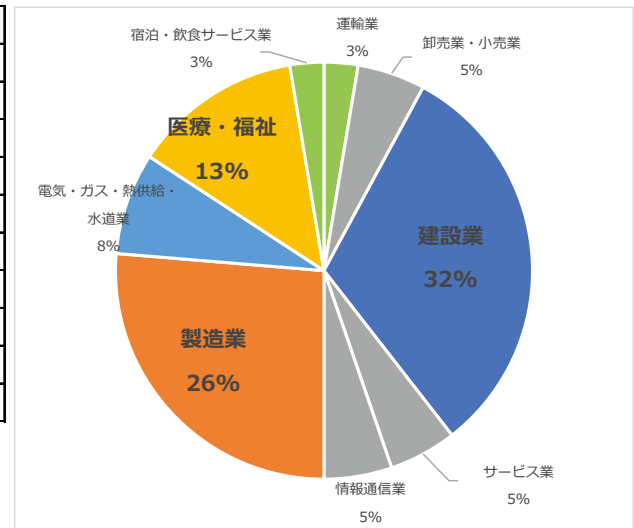
《調査対象》

・対象企業：38社 ・回収社数：38社 ・回収率：100% ・調査期間：平成31年1～2月

1. 事業全般について

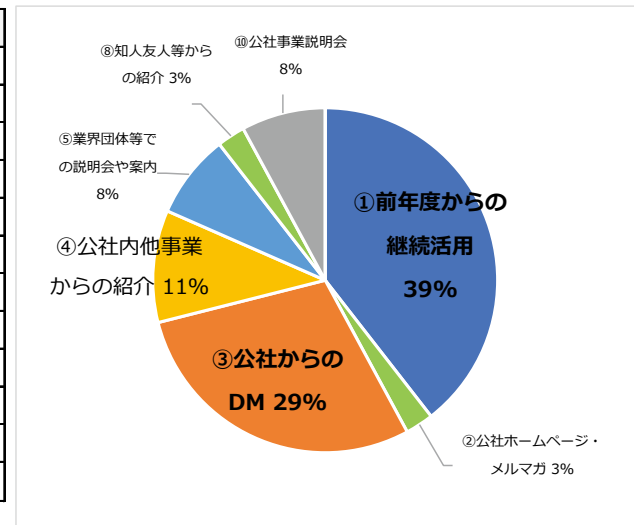
申請企業 業種内訳

業種	数値	割合
運輸業	1	3%
卸売業・小売業	2	5%
建設業	12	32%
サービス業	2	5%
情報通信業	2	5%
製造業	10	26%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	8%
医療・福祉	5	13%
宿泊・飲食サービス業	1	3%
計	38	100%



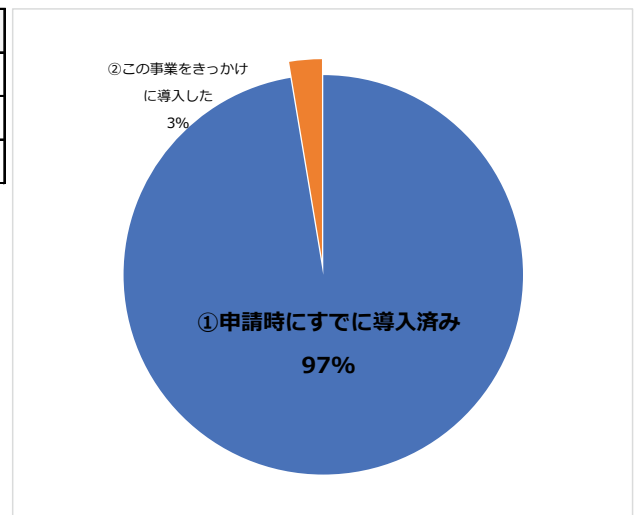
(1) 今回の事業を知るきっかけ

	数値	割合
①前年度からの継続活用	15	39%
②公社ホームページ・メルマガ	1	3%
③公社からのDM	11	29%
④公社内他事業からの紹介	4	11%
⑤業界団体等での説明会や案内	3	8%
⑥新聞広告	0	0%
⑦チラシ	0	0%
⑧知人友人等からの紹介	1	3%
⑨ラジオ	0	0%
⑩公社事業説明会	3	8%
⑪その他	0	0%
計	38	100%



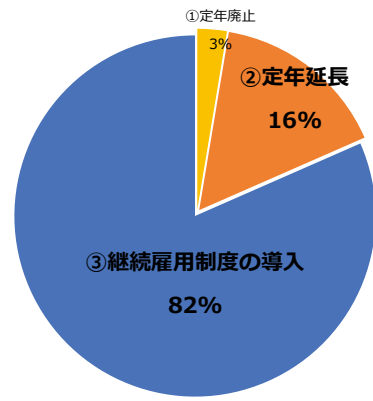
(2) 高年齢者雇用確保措置（高年齢者の65歳までの雇用）について

	数値	割合
①申請時にすでに導入済み	37	97%
②この事業をきっかけに導入した	1	3%
計	38	100%



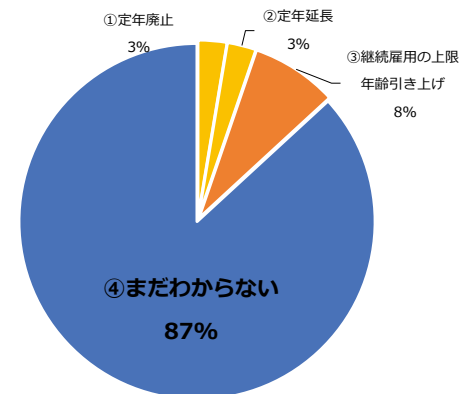
(3)-1導入している高齢者雇用確保措置は

	数値	割合
①定年廃止	1	3%
②定年延長	6	16%
③継続雇用制度の導入	31	82%
計	38	100%



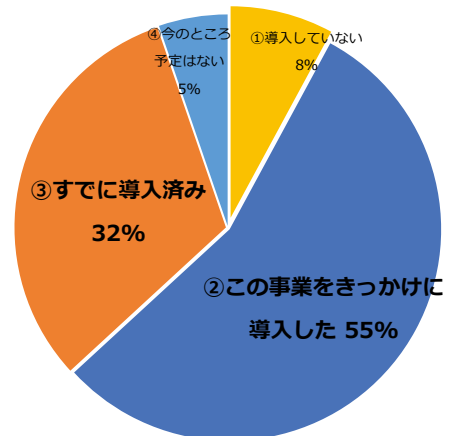
(3)-2今後、5年以内に現在の定年に関する制度を変更する計画はありますか

	数値	割合
①定年廃止	1	3%
②定年延長	1	3%
③継続雇用の上限年齢引き上げ	3	8%
④まだわからない	33	87%
計	38	100%



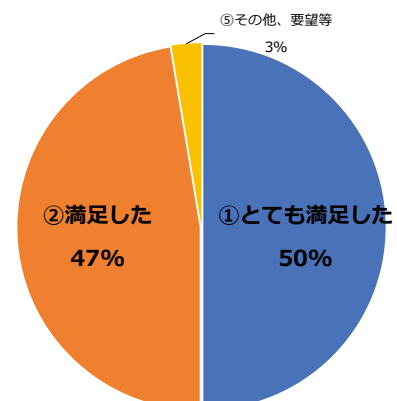
(4)企業における働き方の改善について

	数値	割合
①導入していない	3	8%
②この事業をきっかけに導入した	21	55%
③すでに導入済み	12	32%
④今のところ予定はない	2	5%
計	38	100%



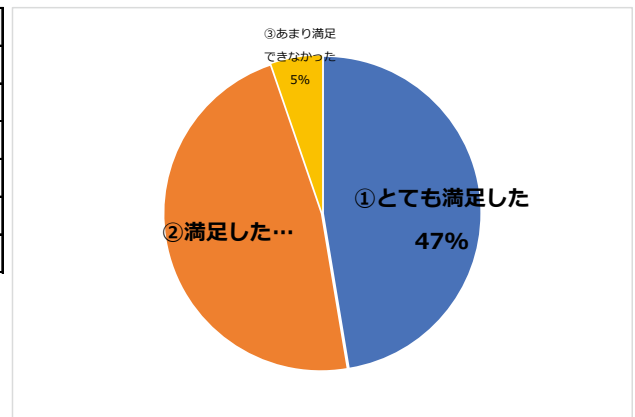
(5)事業の支援の内容について

	数値	割合
①とても満足した	19	50%
②満足した	18	47%
③あまり満足できなかった	0	0%
④不満足であった	0	0%
⑤その他、要望等	1	3%
計	38	100%



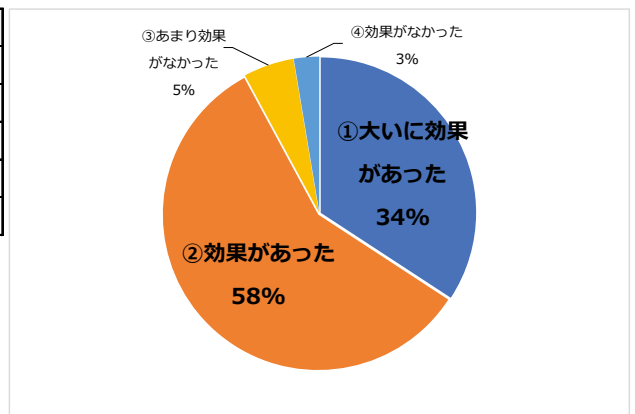
(6)事業の助成額について

	数値	割合
①とても満足した	18	47%
②満足した	18	47%
③あまり満足できなかった	2	5%
④不満足であった	0	0%
⑤その他、要望等	0	0%
計	38	100%



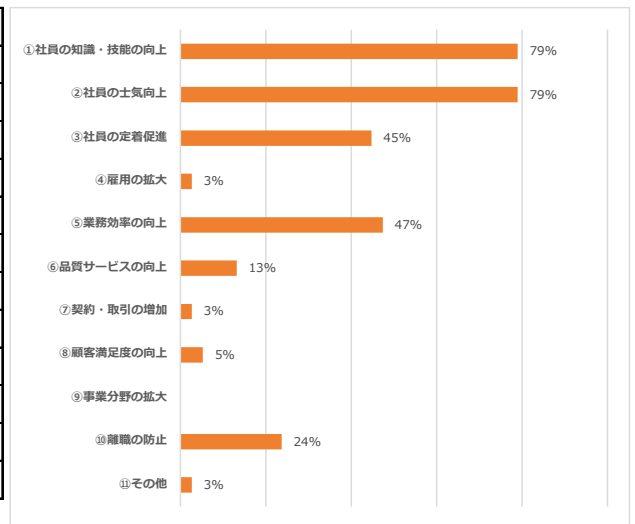
(7)事業の支援を受けた効果について（教育・育成効果等）

	数値	割合
①大いに効果があった	13	34%
②効果があった	22	58%
③あまり効果がなかった	2	5%
④効果がなかった	1	3%
計	38	100%



(8)当事業はどのような効果がありましたか（複数回答可）

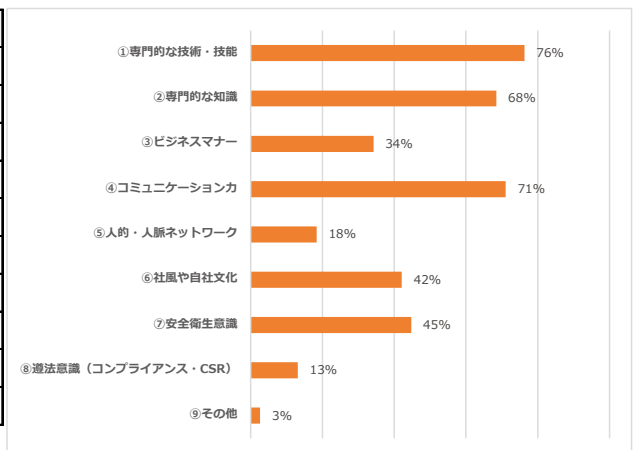
	数値	回答率
①社員の知識・技能の向上	30	79%
②社員の士気向上	30	79%
③社員の定着促進	17	45%
④雇用の拡大	1	3%
⑤業務効率の向上	18	47%
⑥品質サービスの向上	5	13%
⑦契約・取引の増加	1	3%
⑧顧客満足度の向上	2	5%
⑨事業分野の拡大	0	0%
⑩離職の防止	9	24%
⑪その他	1	3%
計	114	



※「回答率」は活用企業数38社から算出

(9)具体的に若年者が継承できたスキル（複数回答可）

	数値	回答率
①専門的な技術・技能	29	76%
②専門的な知識	26	68%
③ビジネスマナー	13	34%
④コミュニケーション力	27	71%
⑤人的・人脈ネットワーク	7	18%
⑥社風や自社文化	16	42%
⑦安全衛生意識	17	45%
⑧遵法意識（コンプライアンス・CSR）	5	13%
⑨その他	1	3%
計	141	

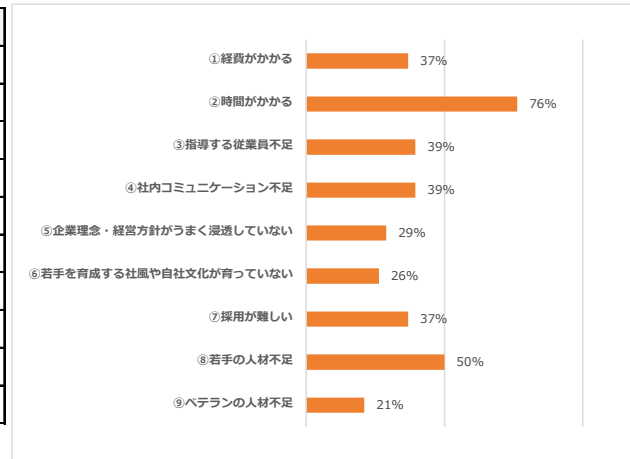


※「回答率」は活用企業数38社から算出

(10)従業員の雇用や教育に関する問題点について（複数回答可）

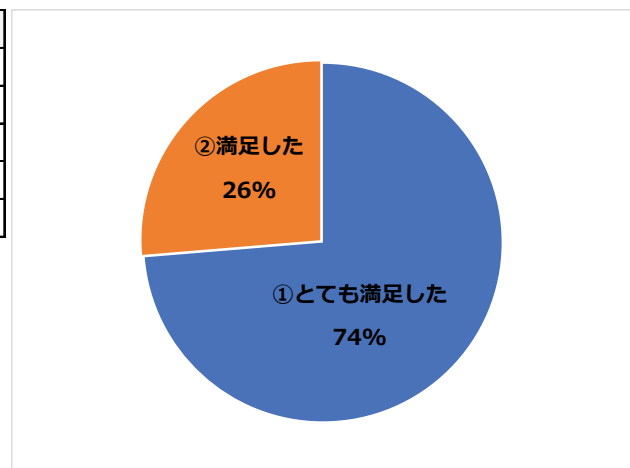
	数値	回答率
①経費がかかる	14	37%
②時間がかかる	29	76%
③指導する従業員不足	15	39%
④社内コミュニケーション不足	15	39%
⑤企業理念・経営方針がうまく浸透していない	11	29%
⑥若手を育成する社風や自社文化が育っていない	10	26%
⑦採用が難しい	14	37%
⑧若手の人材不足	19	50%
⑨ベテランの人材不足	8	21%
計	135	

※「回答率」は活用企業数38社から算出



(11)公社支援担当者について

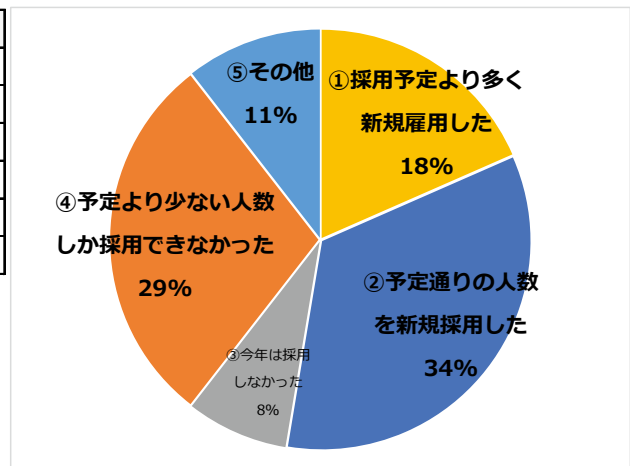
	数値	割合
①とても満足した	28	74%
②満足した	10	26%
③あまり満足できなかった	0	0%
④不満足であった	0	0%
計	38	100%



2. 御社の新規雇用状況について

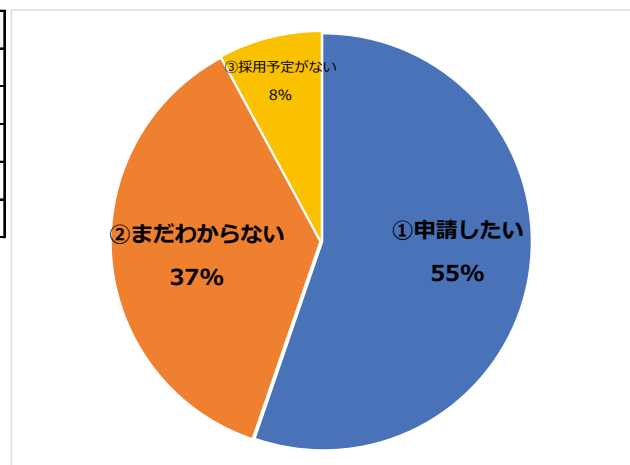
(1)今年の新規雇用の計画と実績について

	数値	割合
①採用予定より多く新規雇用した	7	18%
②予定通りの人数を新規採用した	13	34%
③今年は採用しなかった	3	8%
④予定より少ない人数しか採用できなかった	11	29%
⑤その他	4	11%
計	38	100%



(2)今後も本事業の支援を受けたいと思いますか。

	数値	割合
①申請したい	21	55%
②まだわからない	14	37%
③採用予定がない	3	8%
④申請したくない	0	0%
計	38	100%



【ペア就労の効果について】

- * 若年者の技能・技術が向上した。社内の人財育成意識や、コミュニケーション、そして若年者の積極性が高まった。
- * スキル継承をより意識して取り組むので短期間に若年者の意識向上がみられるので助かる。
- * 若年者のコミュニケーション力が増した気がする。
積極的に他の社員（高年齢者・中堅者）とのコミュニケーションが取れるようになっている。
- * 対象者の部署が研究開発で通常は現場に出ることは少ないが、今回の事業を通して実際の製造現場を経験する機会ができ、本人含め非常に満足している。
- * 若年者が高年齢者や中堅者から、日常業務やその他のことを指導してもらい体制を改めて整えたことで
「わからないことがあったら、だれに聞けばよいのか？」という事が明確化し、安心感をもって仕事に取り組めるようになった。
- * 高年齢の職員も、若年者の立場での視点を学び、他の職員にも指導しやすくなった。
- * ペア就労の取組後は、コミュニケーションも取れ業務もスムーズに行える環境が整った。
- * 社内で若年者の育成について話し合う場が設けられ、若年者は自分たちで育成していくという意識が出てきた。
今までは採用後もほとんど訓練を外部の講習のみで、若手の退職率も高かったが、社内全体で若年者の育成をしようと気運が高まっているので離職率の低下にも繋がるのではないかと。
- * 業務の内容を理解することで、仕事に取り組む姿勢も変わってきている。
- * これまでマニュアル等がなく高年齢者の判断に任せていたが、事業を活用することで新人教育の内容を明確化できた。
- * 55歳以上の社員と若年者がペアで仕事をする機会は少ないので、事業を通して一緒に仕事をする機会が増えて良かった。
- * 若年者はこれまで以上に共に課題を共有し、自発的にサポート上の困難さの解決に取り組んで、大いに成長がみられる。
- * 教育訓練の大切さ、高年齢者の技術継承の重要性が社内で再確認できた。
- * 高年齢者と若年者のコミュニケーションが図られ、早期的な技術継承にも繋がり大変満足している。
継続的な人材採用、社員定着に重点を置き今後も取り組みたい。
- * 4月に若年者を初雇用し、今回の支援事業に取り組んだため、より効率的に教育指導を行うことができ大変助かった。
- * 前事業のペア就労含め3年連続4回の活用を行っている。当社にとって、若年層教育が社内文化として浸透してきている。
結果、若年層職員の定着促進や社員間のコミュニケーション促進につながっている。

【中堅者の指導追加について】

- * 高年齢従業員はデスクワークが多いため、若年者と常時現場に配置するのが難しかったが、
中堅者を入れて3人でペア就労することでスムーズに進められた。
- * 中堅者にとっても後輩指導について教育できたと感じている。
- * 中堅者のフォローや、研修等も必要だと感じた。今後は中堅者がリーダーシップを発揮できるよう取り組みたい。
- * 本事業の活用により、高年齢者・中堅者スタッフの新人教育に対する意識が高まる。
今後はより効果的な教育プログラムの整備に取り組みたい。

【その他】

- * 今年度から働き方の改善に関するセミナーの開催もあり感謝している。
セミナーで得た知識を社内に取り入れ、時代に取り残されないよう精進したい。